令和4年度珠洲市
SDGs学習取組報告会

トキ　Photo 菊谷 正好

11.12 土

@ラポルトすず 大ホール

開会挨拶	13:35
取組報告	13:40
講　　評	15:45
閉　　会	16:00

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

報告会の映像はこちら

能登SDGsラボ

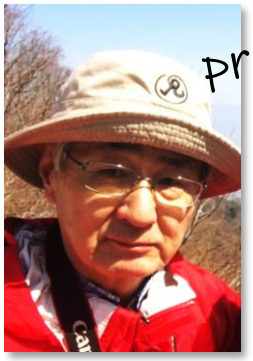
プログラム

13:35	開会挨拶　珠洲市教育長　吉木 充弘
13:40	小学校･義務教育学校前期5. 6年生
	1. 上戸小学校
	2. 飯田小学校5年生
	3. 飯田小学校6年生
	4. 直小学校5年生
	5. 直小学校6年生
	6. 若山小学校
	7. 正院小学校
	8. 蛸島小学校
	9. みさき小学校5年生
	10. みさき小学校6年生
	11. 宝立小中学校5年生
	12. 宝立小中学校6年生
	13. 大谷小中学校
	休憩 ＜ 10分 ＞
	中学校･義務教育学校後期
	14. 緑丘中学校1年生
	15. 緑丘中学校2年生
	16. 緑丘中学校3年生
	17. 三崎中学校2年生
	18. 宝立小中学校7.8.9年生
	19. 大谷小中学校7.8.9年生
15:45	講評　北陸ESD推進コンソーシアム コーディネーター　池端 弘久
16:00	閉会

報告会の趣旨

総合的な学習の時間を中心に学習しているSDGs学習の取組について報告会を実施し、学校間での学びを共有して、考えを広げたり深めたりする学習の機会とします。

また、保護者や総合的な学習にご協力いただいている地域の方々へ学習内容を発信する機会とします。



profile

講　評　池端　弘久　イケハタ　ヒロヒサ

教師として金沢市の小学校やギリシャのアテネ日本人学校に勤務後、金沢市教育委員会学校指導課長、金沢市立中央小学校の校長、金沢市ふれあい研修センター館長、シンガポール日本人学校小学部チャンギ校の校長を務め、教育現場におけるESDを進める。現在は、北陸ESD推進コンソーシアムのコーディネーター。

小学校・義務教育学校前期５.６年生

1. 上戸小学校

『再発見！～上戸町・珠洲市の伝統文化・伝統産業～』

「上戸町や珠洲市の魅力って何？」「知っているつもりになっていない？」「自分たちが知っていること、知らないこと、どんどん地域に出て行って調べよう！」SDGsのゴール11「住み続けられるまちづくりを」と関連させて学習を進めています。地元の人や移住してきた人の話を聞き、伝統産業や文化、それらに関わる人々の思いを知ることができました。様々な体験活動を通して、「珠洲の魅力とこれからの珠洲」を考えています。

2. 飯田小学校　5年生

『食料廃棄を減らすためにわたし達にできること』

世界で起きている様々な問題について調べる中で、食料廃棄問題について関心を持ちました。詳しく調べていくうちに世界や日本全体でたくさんのまだ食べられる食料が毎日捨てられていることを知りました。自分達の学校や家での食料廃棄について調べました。自分達の家でも賞味期限切れなどの理由でまだ食べられる食材がたくさん捨てられていることを知り、自分達にもできることはないか考え、取組を行いました。

3. 飯田小学校　6年生

『住み続けられる飯田町を目指して』

昨年度も、飯田小学校の6年生は「住み続けられるまちづくりを」の目標に取り組んでいました。昨年度の内容を受けて、今年度は「人口減少という課題に対して、自分たちにできること」について考えました。1学期は、「子育て」「地震対策」「ごみ問題」「魅力発信」というテーマで調べ学習を行いました。2学期は、「地域について知る」「自慢できる地域づくり」が、目標の達成につながると考え、実践をしました。

4. 直小学校　5年生

SDGsゴール１４海の豊かさを守ろう
『～自慢の海であり続けるために～』

直小学校５年生はゴール１４「海の豊かさを守ろう」について、もっと知りたいということがたくさんあります。その知りたいことを本やネットを使って自分たちで調べたり、海に関係のある地域の方々にお話を聞いたりして調べ学習をすすめています。海のことについていろいろな視点から見て、自分たちの自慢の海をどのようにして守っていくか考えていきたいと思っています。

5. 直小学校　6年生

『みんなに伝えたい！珠洲のみりょく！！』

みなさんは、１０年後も珠洲に住み続けますか？人口減少、高齢化が進むこの珠洲には、何もないのでしょうか？そんなことはありません。珠洲には、たくさんのみりょくがあります。どうしたら、今珠洲に住んでいる人が充実した生活を送ることができるのか、そしてどうしたらたくさんの人に珠洲のみりょくを伝えることができるのか考えたことを発表します。

6. 若山小学校

『住み続けられるまちへ　私たちができること』

「住み続けられるまちづくり」とは「住み続けたいと思えるまち」でなくてはならない、そんな視点を持って私たちは取組を始めました。自分たちが大人になったとき、このまちに安心して住んでいくためにはどんなことが欠かせないのかを、たくさん考えました。そして、今の自分たちにできることにも目を向け、子どもからお年寄りまで楽しんで参加できるようなイベントを行いました。

7. 正院小学校

『珠洲市の魅力を届けよう！～珠洲の食に注目して～』

正院小学校の５.６年生は、珠洲市が抱える課題として人口が減少し続けていることに目を向け、それの解決のためには珠洲市の魅力をたくさんの人たちに伝えることが大切だと考えました。そこで、珠洲市の魅力として、野菜や果物・魚介類などの新鮮でおいしい食材が豊かであることを挙げ、生産している人たちはどのような工夫をしているのか、またどのような思いをもって仕事に取り組んでいるのかを調べています。

8. 蛸島小学校

『未来の珠洲市　～私たちにできること～』

住み続けられる珠洲市であるためには、どんなことができるのだろう。何気なく過ごしている私たちの身の回りには、環境のことを考えた取組や商品がたくさんあります。様々な会社や企業から商品開発や取組の工夫、生産する側の思いを教えていただきました。私たちにできることは何かを考え、未来の珠洲市を創造してみました。これからを共に生きる珠洲市のみなさんと一緒に考えて、さらにできることを増やしていきたいと思います。

9. みさき小学校　5年生

『わたしたちと田んぼ』

今年度、地域の方々のご協力により、学校のすぐそばに学校田を設置していただき、田植えや稲刈りの体験をさせていただきました。また学校田は、学校の窓からも見えるため、地域の方々が田んぼの草刈りや水の管理などに日々尽力されていることを知りました。継続的に田んぼについて調べることを通して、米作りに対する農家の方々の思いを知ることができました。これらの体験を通して学んだ地域への思いを発表します。

10. みさき小学校　6年生

『珠洲を住み続けられるまちに』

近年、地震が多いことから防災に関する関心が高まり、これからも安心して珠洲市に住み続けるには防災対策について考える必要があるという問題意識を持ちました。そこで、先日の「能登半島珠洲地震」を中心に様々な災害について調べたり、防災対策についての講義を受けたりし、自分たちにできることを考えました。ここでは、これまでに実際に取り組んできたことやこれから取り組んでいきたいことを報告します。

11. 宝立小中学校　5年生　ふるさと珠洲科

『産業と人～産業から珠洲を考える～』におけるSDGs

ふるさと珠洲科の学習の中でゴール１１「住み続けられる　まちづくりを」を中心に学習を進めています。５年生は「産業から珠洲を考える」のテーマのもと、珠洲の宿泊・観光業について、他のゴールとも関連付けながら、課題を見つけ、考えてきました。市内にある様々な宿泊施設を調査・見学し、観光客の目的・ニーズに対応する取り組みや宿泊施設が珠洲の豊かな自然とどのように関わっているかをまとめ、報告します。

12. 宝立小中学校　6年生　ふるさと珠洲科

『森と空気からSDGsを考える』

「気候変動に具体的な対策を」に関し、地球温暖化を防ぐためには二酸化炭素の削減が必要であることを学びました。また、理科の時間に木が二酸化炭素を吸収し酸素を排出していることを学び、私たちは森の働きに着目しました。
これは、「陸の豊かさも守ろう」にも関係し、森を豊かにすることで空気もきれいになります。珠洲の豊かな自然はどのように育まれてきたのかを学習しながら、森を守るボランティア活動にも参加しました。

13. 大谷小中学校

『今ある「当たり前」を未来に残すために』

私たちが住んでいる地域の、山、海、住んでいる生き物等、何もかもが自分たちにとって「当たり前なもの」ばかりです。私たちは、その「当たり前」がなくなったら…を想像し、今ある「当たり前」を未来に残すために、海の豊かさ、公正・公平、つくる責任・つかう責任について学習しました。今ある「当たり前」を未来に残すために、私たちが考え続けなければいけないことを伝えます。

14. 緑丘中学校　1年生

SuZuSoZo Ⅰ期『地域と世界を知ろう～地域を掘り下げる～ 』

今年度の１年生は、「地域を掘り下げる」をテーマに活動しています。そこで自分の考えをもって、３学期に「珠洲の良さについて掘り下げたこと」を発表することを目指しています。またゲストティーチャーの方々との交流も通じて地域の取組や現状についても学んでいます。その良さを守ったり、更により良いものにしたりするためにということでSDGsの視点をもちながら学習をしています。

15. 緑丘中学校　2年生

SuZuSoZo Ⅱ期『珠洲の香り』プロジェクト
（花王株式会社とのコラボ企画）

昨年度２学期から、花王株式会社と連携して、SDGsのテーマである「持続可能な社会を考える」の視点で「珠洲の香りを考える」プロジェクトに取り組んでいます。珠洲をイメージする香り、珠洲にしかない香り、珠洲といえばこの香りというように様々な視点から珠洲の香りについて考えてきました。

16. 緑丘中学校　3年生

SuZuSoZo Ⅲ期『馬とともに暮らす珠洲の風景』

今年度の３年生は、昨年度の３年生が行っていた「鉢ヶ崎ランドスケープデザイン」に、引退馬を活用することを加えて「馬とともに暮らす風景」の実践に向けた取組をしてきました。鉢ヶ崎のフィールドワーク、引退馬とのふれあい、様々な外部の大人の方々との関わりを経て、「持続可能なまちづくり」について感じたこと、わかったことを報告します。

17. 三崎中学校　2年生

『三崎の未来を創るアイデア ～三崎中２年生の提案～』

私達は「働くこと」＝「生活のためにお金を稼ぐこと」と考えていたが、大人へのアンケート結果や職場体験を通じて「働くこと」のイメージが変化した。新たなアイデアで活動されている地域の方々にお話を伺い、地域で働くことがＳＤＧsの「⑧働きがいも経済成長も」「⑪住み続けられるまちづくりを」に通じることに気が付いた。私達は、持続可能な三崎町のために何ができるかを考えた。

18. 宝立小中学校　7.8.9年生

ふるさと珠洲科『ふるさとの未来創造　』

宝立小中では昨年度から地域活性化プロジェクトとして９年生を中心に空海にゆかりある見附島、法住寺、曽の坊の滝をEマウンテンバイクで巡る宝立３大パワースポットのツアー創りを行ってきました。今年度は修学旅行で得た学びをもとに、昔使われていた古道を地元の方の協力を得ながら整備を行い、新たな魅力づくりを行ってきました。自然の中、地元の方と作業をする中で人が山に入ることの大切さなど、多くの気づきを得ることができました。

19. 大谷小中学校　7.8.9年生

『みんなでハッピーになるために』
～西海地区の今を将来につなぐ～

7年生は「農作物の有効利用・お年寄りと防災・西海地区の伝統」に課題を発見！「もっと（もう少し）○○したら、みんなでハッピーになれる」の○○の部分を皆さんに提案します。クラスジャパンの取り組みも始まり、8年生は西海地区の魅力発信の広告塔となれるようなCMづくりに取り組んでいます。
９年生は防災について調査を行っています。みんなが安心して住んだり、観光したりできる珠洲にするために何が必要かを提案します。

オオヒシクイは
冬になると渡来する大型の
ガンの仲間で国の天然記念物に
指定されています。奥能登地域では珠洲市
だけに生息していて、ため池や田んぼなどの
里山環境で暮らしている鳥です。
警戒心の強い鳥なので、見つけても
びっくりさせないように遠くから
優しく観察しましょう！

オオヒシクイとコハクチョウ
Photo　岸岡 智也

珠洲市教育委員会　能登SDGsラボ